

第3回定例会(9月議会)

9月5日
▼
9月13日

平成29年度決算を認定

＜一般会計＞ 歳入 **112億6,169万円** (前年対比2.3%増)

歳出 **109億2,024万円** (前年対比2.5%増)

＜特別会計＞ **5会計及び水道事業会計認定**

平成29年度国民健康保険特別会計決算

区分	歳入決算	歳出決算	差異
H28年度	27億4,846万円	26億5,533万円	9,313万円
H29年度	28億9,067万円	26億7,206万円	2億1,861万円

加入状況

区分	H29.3.31	H30.3.31	差異
世帯数	3,148世帯	3,046世帯	△ 102世帯
被保険者数	5,511人	5,247人	△ 264人

平成29年度公共下水道事業特別会計決算

区分	歳入決算	内 使用料 及 手数料	歳出決算
H28年度	11億6,912万円	1億4,130万円	11億6,908万円
H29年度	7億7,656万円	1億4,956万円	7億7,652万円

加入状況

区分	H29.3.31	H30.3.31	差異
使用件数	2,165件	2,297件	132件
使用対象人口	7,088人	7,477人	389人

※平成29年度一般会計決算等の内容が、広報いけだ11月号に記載されていますので金額等は省略いたします。

監査委員の決算審査意見(抜粋)

一般会計歳入総額については、収入済額112億6,169万円で前年度に比べ2億5,558万円増加したが、町税の収入未済額は、4,695万円となっている。また、ふるさと納税による収入は、25億5,200万円になった。町税収入は自主財源の基幹をなすものであり、「負担の公平の達成」に向け滞納整理及び徴収業務については、実効を高めるように努力を期待したい。

国民健康保険特別会計については、単年度収支では1億2,548万円の黒字となっているが、町税に比べて収入未済額が高い状況であることには留意すべきである。

公共下水道事業特別会計については、1億8,522万円の赤字であった。下水道整備により、地方債現在高が増加するため、計画的な事業を行い、町債発行額の抑制、また、接続率の向上を図りつつ、料金滞納の一掃、料金の適正化等を検討しながら、効率的かつ効果的な運営に努められたい。

町財政運営についての意見・要望として、公共施設の老朽化対策や社会保障経費の増加などの課題と向き合いながら、安定的で持続可能な健全財政に努めるとともに、第六次総合計画では事業の「選択と集中」で効率化が図られることを期待する。

水道事業会計については、北部・南部簡易水道との統合により自己資本構成比率が56.6%になった。また安心・安全な水の供給体制の維持のために、町水道の利用促進および有収率の向上や維持管理経費の節減を図り、一層の経営努力を望む。